E-Ne

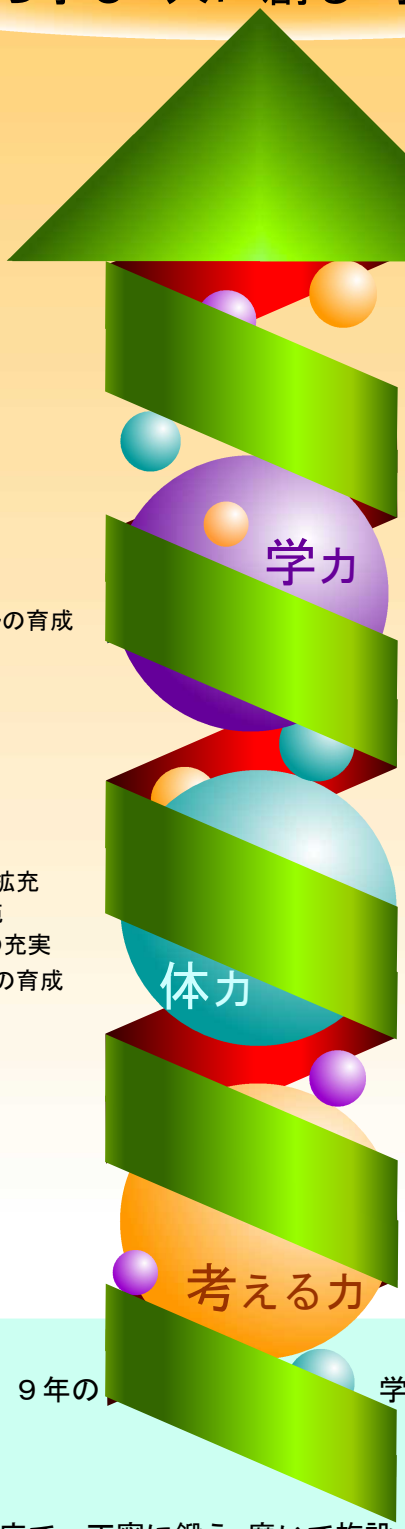
East-Neyagawa-Gakuen

東寝屋川学園

小中一貫教育推進図

第四中学校区（東寝屋川学園）は、「施設一体型小中一貫校」の２０２３年度中開校に向け、「構想から構築」を合言葉に、より一層の学園の充実を進めます。

自ら学び 共に創る 学園生



言語活動

すすんで 聞く・伝える

- 聞く姿勢の定着
- 書く･読む機会の拡充
- 話し合う活動の重視
- 発表経験の積み上げ
- ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを楽しむ姿勢の育成

自主･自律

すすんで 律する･取り組む

- ノーチャイムの学園生活を拡充
- ノーＴＶ＆ゲームdayの実施
- 体験学習･問題解決型学習の充実
- イベントを通した協働意識の育成

すすんで 学ぶ・活用する

- 「わかる･できる･かかわる」授業で基礎･基本の定着
- 少人数授業等で個の課題克服
- 国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科と英語科の連携推進
- 家庭学習とのリンクで効率アップ
- 習得･活用･探究を明確にした授業研究

すすんで 動く･楽しむ

- 体づくり運動定着と量の保障
- クラブ対象学年の拡大
- 体力テスト定例化で確認･検証
- 食育を活用した身体づくり

すすんで 感じる･尽くす

- 体験による自尊感情の向上
- 道徳の時間の深化と有効利用
- 表現と感受の場の充実
- 学園･地域への誇りの育成

◆2011年度：
「言語活動」と「自主･自律」が、９年の　　学校生活を貫く学園づくりがスタート！

◆2023年度中：
２つの柱を生かす細やかな対応で、丁寧に鍛え･磨いて施設一体型小中一貫校としての新たなスタート！

今年度の学園の課題について

①「考える力」の育成

・「ディベート教育研究協力校」としての校区の取組

・「ディベート教育」の小中の継続性

②「考える力」をベースとした「学力」・「体力」の育成

・「ねやがわスタンダード」の深化

・タブレット（特にロイロノート）の有効な活用

③「小中一貫校」開校に向けた取組み

・校区3校の「考える力」「学力」「体力」の部会

・支援教育、養護教諭、事務の連絡会

【梅が丘小学校】

豊かな心を持ち、自主的に活動できる児童の育成
～「①思いやりのある子」「②よく考える子」「③がんばる子」の育成　～

考える力を身に付けた たくましく生き抜く子

自尊感情・自己有用感の育成	伸びようとする集団づくり	主体的に学ぶ意欲の醸成	ディベート教育・道徳教育の充実	E-Ne学園の指導観の共有化
取組内容				
○伝統と感動と誇りの継承 ・・・梅太鼓・梅小ソーラン ○本物体験 ・・・梅収穫、梅干し 梅ジュース作り	○「一生懸命さ」を常に意識させる啓発活動 ○「身だしなみ・掃除・挨拶・時間を守る」運動の推進 ○ノーチャイム・5分前行動 ・1分前着席	○「主体的・対話的な深い学び」を意識した授業づくり ○全学年「ホワイトボード」 ・・・ICT機器の効果的活用	○「考える力」育成のためのディベート授業方法の研修 ○ディベート授業・道徳授業の実施 ○明和小・第四中との連携	○学園推進委員会の活性化 ○一貫教育合同研修と視察 ○児童・生徒の異学年交流 ○保護者・地域への発信および啓発
人材				
○梅援隊・・・梅、米、よもぎ作り ○元職員・・・梅太鼓 ○地域・先輩・・・梅小ソーラン ○華笑園・・・環境づくり	○梅援隊 ・・・見守り　・学習支援 ○学校評議員（校区、本校） ・・・提言、助言	講師 ○ディベート教育・・・立命館大学大学院教授　○授業づくり（図工）・・・大阪教育大学講師 ○授業づくり（体育）・・・大阪体育大学准教授　○授業づくり（国語）・・・甲南大学准教授 ○英語教育・・・地域からの英語講師		

成果

①ディベート教育を通して、生徒の客観的・多角的・批判的に見る力やコミュニケーション力等を向上させることにより、教科学習や日常生活における人間関係の構築に生かす
②道徳教育を通して、子どもたちの「他を思いやる心」「豊かな人間性」等の醸成を図る中で、自己肯定感を高め、進路選択を含めたより良いキャリア教育につなげる
③情報社会における正しい判断や望ましい態度や危機回避の方法等を身に付けることにより、倫理観をもった子どもを育成する

→ 子どもたちの将来の「生きる力」を育む

「豊かな心を持ち、自主的に活動できる児童の育成」に向けて

1.「考える力」の確立

- **ディベート教育、道徳教育**
- **コミュニケーション力、他人を思いやる力、豊かな人間性の醸成**

校内研修会（考える力の育成）

2. 考える力をベースとした「学ぶ力」

- **特色ある「寝屋川教育」の確立**
- **梅小ソーラン、体験活動、食育等 ⇒ 学ぶ意欲の向上（確かな学び）**
- **「考える力を身に付けた たくましく生き抜く子」の育成**

梅小ソーラン
（大阪メチャハピー祭22年連続入賞）

体験活動
（梅太鼓）

食育
（梅の仕分け・仕込み）

3. 将来の「生き抜く力」の育成

- **変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力の育成**
- **情報を見極めて再構成し、新たな価値につなげていく力の育成**

令和４年度　ねやがわスタンダード（梅が丘小学校イメージ図）

知識基盤社会　**情報化社会**　**グローバル社会**

ことばの力　**生きる力の育成**　**人間力（人格形成）**

社会

２１世紀型能力の構築

基礎力
・自分の能力を使って、理解する力
・知識　経験

思考力
・相手を意識し、伝える力
・自分の考えを持つ力（個の読み・考え）
・グループ　ペアトーク

実践力
・課題発見能力
・答えが無いものに対して切り拓いていく力
・課題解決型学習

考える力の育成

学校で身に付けなければならない力

主体的・対話的で深い学び（意欲的な学び）
※子どもの伸びようとする芽を育てる授業づくり
・子ども主体の授業　『わかる』『楽しい』『もっとやりたい』
・多様な考えが出やすい課題設定（場面設定）
・「良さ」や「伸び」を認め、互いに高めあう実感を持たせる
・授業を通して、子どもの変化を子どもたちと共有していく姿勢　・読解力

学級経営力（クラスの雰囲気・関係性・自分を認めてもらえる環境）

素地

研究テーマ「一人一人の子供が主体的に参加し、互いに高め合う授業づくり」
～子どもの伸びようとする芽を育てよう～

学習規律
・授業のあいさつ　・丁寧な字
・板書　・座り方　・声の大きさ

型の指導
・話型　・聴型　・書型
（三校で統一したもの）

授業づくりは
学級づくり

「考える力」の育成に向けて

「子どもが主体的に動く」とは、子どもの中に「～しよう」「～したい」という内発的エネルギーが生まれてくるということである。

主体的に動く子どもたちは充実感や満足感を感じ、自分自身の生きるエネルギーを生み出していく。また、さまざまな学習活動や発表や表現の中で、子どもたちは個を解放させ、伸び伸びと学習することで、自信や自尊感情を持てるようになる。そして、自分の頑張りや良さが見えてきた子どもは、友だちの頑張りや良さにも目を向けていくようになり、他者を思いやる心を持つことができるようになる。

子どもが主体的に考え、子どもたちが認め合いつながっていくためには、個々が言語で思考し、互いに伝え合う力が必要である。

本校では、子どもたちが互いに認め合い、つながり、それぞれが高まる授業をめざし、『考える力』を中心に授業研究に取り組み、各教科・領域において「主体的・対話的で深い学び」のある授業をめざしているところである。

１．「ねやがわスタンダード」の取組

・秋田市では、家庭学習の取組が子どもたちの学力向上に大きく寄与している点を踏まえ、第四中学校区では、本年度より、３校の自主学習ノートを、「E-Neノート」と名称をそろえ、小中一貫した取組として位置づける中で、自主学習の強化を図っている。

２．「ディベート教育」の取組

・「考える力」の育成の一環として、週１回のディベート授業（４～６年）を通して、情報を活用、よりよい解を導き出す力、すなわち、「正解のない」「答えのない」問題に対して、向き合う力の育成をめざしている。

３．「ＭＩＭ（多層指導モデル）」の取組

・小校低学年時に言葉の読み方でつまずいてしまうと、国語科のみならず、多様な教科において、文章の意味をとらえ違えてしまい、その趣旨をとらえられず様々な教科・領域において課題を抱えやすくなることを踏まえ、本校では本年度より、低学年児より、ＭＩＭの取組を行っている。

四中校区　家庭学習ノートについて

明和小学校　梅が丘小学校　⇒　第四中学校

（東寝屋川学園　East-Neyagawa）

小中のスムーズな移行　（風土醸成）

E-Ne ノート

楽しみ（Enjoy）***共感***（Empathy）***新時代***（Epoch）**を創る**

子どもの力を*引き出す*（Educate）学園づくり

家庭学習に取り組む意義

- 自分の弱点を知り、自身でフォローアップできる姿勢を育む。
- 自分の思考を整理しやすい、より良いノート作りを目指す。
- 自分の視野を広げる。
- 学習のサイクルを身につける。

家庭学習ノートのやくそく

①めあて　ふりかえり　を必ず書きましょう。

- めあて…この１ページで、何を学ぶのか
  何を出来るようにするのか、を書きます。
- ふりかえり…自主学習を終えて学んだ事、新たな発見、自分の成長等
  「うつりかわり」がわかるように書きます。

②ていねいに書く

- あとから見た時に、ふりかえられるようにしよう。

③内容について

- 苦手な事に優先して取り組もう。
- 新しい事　知らない事にもチャレンジ
- 資料やサイト・本を写すだけはダメ

「E-Ne ノート」の紹介

本校では、E-Neノートの紹介コーナーを、1階の踊り場に設け、各学年や四中・明和小の模範となる自主学習ノートを掲示して、家庭学習の啓発に取り組んでいます。

梅が丘小のノート例

良いところを取り入れ合う

明和小のノート例